

## 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①鉄棒運動の行い方について、言ったり書いたりしている。 ②自己の能力に適した支持系の基本的な技をすることができる。	①自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。 ②課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。	①鉄棒運動に進んで取り組もうとしている。 ②きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ③器械・器具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ④友達の考えを認めようとしている。 ⑤場や器械・器具の安全、試技の開始前の安全を確認している。

鉄棒運動は、支持系の基本的な技をして、その技ができる楽しさや喜びに触れることができる運動です。本単元例は、単元前半は補助逆上がりやかかえ込み前回り、かかえ込み後ろ回りなどの基本的な技に自己の能力に適した場で挑戦する時間、単元後半は技を繰り返したり組み合わせたりできるようになりたい技に挑戦したりする時間を設定することで、自己の能力に適した技に進んで取り組むことができる授業を展開するようにしています。

## 単元の目標

- 鉄棒運動の行い方を知るとともに、支持系の基本的な技をすることができるようにする。
- 自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- 鉄棒運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

## 指導と評価の計画（6時間）

時間	1	2	3
ねらい	学習の見通しをもつ	基本的な技の行い方を知り、技に挑戦することを楽しむ	
学習活動	<b>オリエンテーション</b> 1 集合、挨拶、健康観察をする 2 単元の学習の見通しをもつ ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○学習のきまりを知る。 3 本時のねらいを知り、目標を立てる 4 場や器械・器具の準備をする ○場や器械・器具の準備と片付けの仕方を知る。 5 準備運動、主運動につながる運動をする ○準備運動、主運動につながる運動の行い方を知る。 6 鉄棒運動をする ○支持系の基本的な技の行い方を確認する。 ○自己の能力に適した技を選んで行う。	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいを知り、 4 準備運動、主運動につながる運動をする 5 鉄棒運動の自己のできる技に取り組む ○基本的な技の行い方を知る。 ○自己の能力に適した技を選んで行う。 ○課題の解決のために考えたことを伝える。	6 鉄棒運動の新しい技に挑戦する ○基本的な技の行い方を知る。 【補助逆上がり】 【かかえ込み前回り】 【かかえ込み後ろ回り】 ○自己の能力に適した練習の場を選んで行う。 ○課題の解決のために考えたことを伝える。
	7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 8 整理運動、場や器械・器具の片付けをする。		
評価の重点	知識・技能		① 観察・学習カード
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度	⑤ 観察・学習カード	③ 観察・学習カード

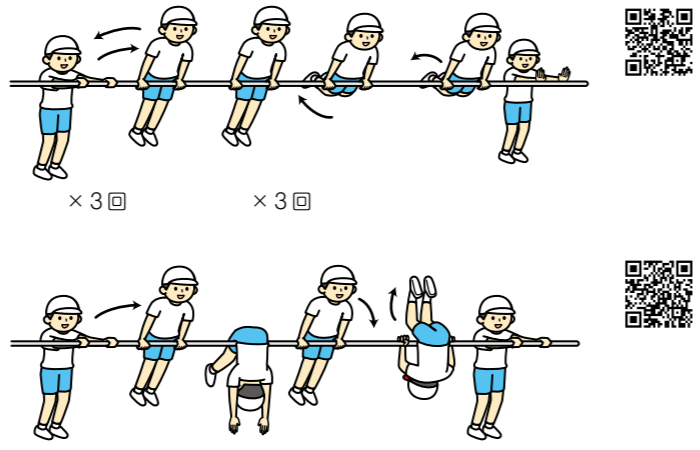
4	5	6
課題の解決のための活動を工夫して技に挑戦したり、技を繰り返したり組み合わせたりすることを楽しむ		学習のまとめをする
目標を立てる	3 場や器械・器具の準備をする	
5 鉄棒運動のできる技を繰り返したり組み合わせたりする ○技の繰り返し方や組み合わせ方を知る。 ○自己の能力に適した技を選び、繰り返したり、組み合わせたりする。 ○課題の解決のために考えたことを伝える。		<b>学習のまとめ</b> 5 鉄棒運動発表会をする ○発表する技、技の繰り返しや組み合わせを練習する。 ○できるようになった技、技の繰り返しや組み合わせをグループ内で見せ合う。
6 鉄棒運動の自己の能力に適した技に挑戦する ○自己の能力に適した課題を解決するための活動を選んで、もう少しでできそうな技に挑戦する。 ○基本的な技に十分に取り組んだ上で、それらの発展技にも取り組む。 ○課題の解決のために考えたことを伝える。		6 単元を振り返り、学習のまとめをする 7 整理運動、場や器械・器具の片付けをする 8 集合、健康観察、挨拶をする
9 集合、挨拶をする。		
	② 観察	
① 観察・学習カード		② 観察・学習カード
	④ 観察・学習カード	① 観察・学習カード

# 本時の目標と展開① (1/6時間)

## 本時の目標

- (1) 鉄棒運動の行い方を知ることができるようにする。
- (2) 自己の能力に適した課題を見つけ、その課題の解決のための活動を選ぶことができるようにする。
- (3) 場や器械・器具の安全、試技の開始前の安全を確かめることができるようにする。

## 本時の展開

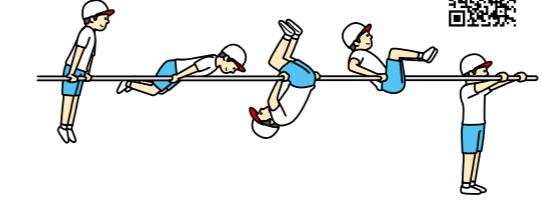
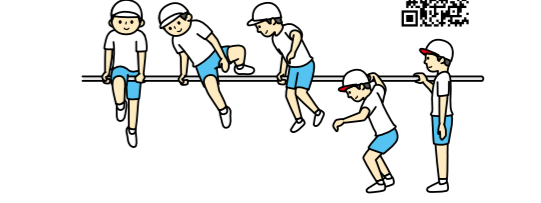
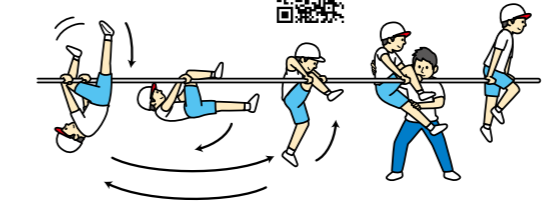
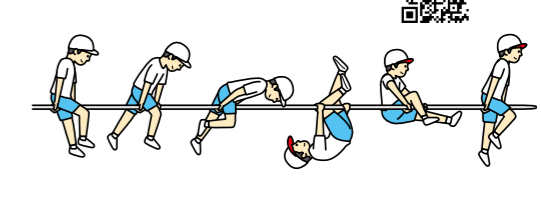
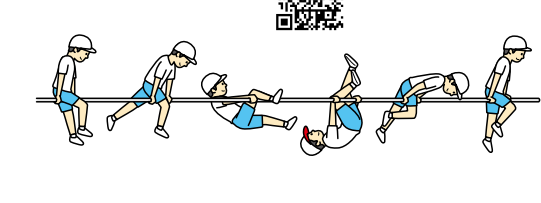
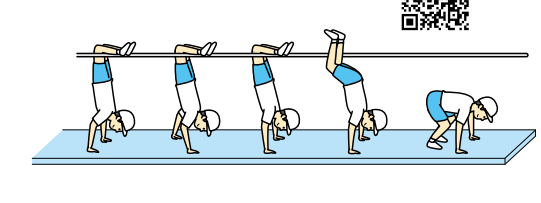
時間	学習内容・活動	指導上の留意点
5分	<b>1 集合, 挨拶, 健康観察をする</b> <b>2 単元の学習の見直しをもつ</b> ○単元の目標と学習の進め方を知る。 ○運動のきまりを知る。 ○学習をするグループを確認する。	● 掲示物を活用するなどしながら分かりやすく説明する。 ● 学習をするグループを事前に決めておく。
	<b>学習のきまりの例</b> ・器械・器具は正しく使いましょう。 ・グループで協力して学習をしましょう。 ・できる技から無理なく取り組み、できた技はその発展技にも挑戦しましょう。	● 場の安全を確かめましょう。 ● グループの友達のを認めましょう。
15分	<b>3 本時のねらいを知り, 目標を立てる</b> 鉄棒運動の学習の進め方を知り, 学習の見直しをもつ ○本時のねらいを知り, 自己の目標を立てる。	● 学習カードを配り, 使い方を説明する。
	<b>4 場や器械・器具の準備をする</b> ○場や器械・器具の準備と片付けの仕方を知る。 ○グループで協力して, 準備をする。	● 安全な準備と片付けの仕方を説明する。 ● 安全を確かめている様子を取り上げて, 称賛する。
5分	<b>5 準備運動, 主運動につながる運動をする</b> ○準備運動, 主運動につながる運動の行い方を知る。 ○学級全体やグループで準備運動, 主運動につながる運動をする。	● けがの防止のために適切な準備運動の行い方について, 実際に動いて示しながら説明する。
	<b>準備運動の例</b> ○徒手での運動 … 肩, 腕, 手首, 腿, 膝, ふくらはぎ, 足首などをほぐす運動をグループで選ぶ。 <b>主運動につながる運動の例</b> ○跳び上がり・跳び下り (3回) → ツバメから後ろ振り (3回) → 後ろ振り跳び下り ○跳び上がり → ツバメ → ふとん干し → ツバメ → 前回り下り	

## 6 鉄棒運動をする

- 支持系の基本的な技の行い方を確認する。
- 自己のできる技を確認する。

- 支持系の基本的な技の行い方について, 学習資料やICT機器を活用したり, 実際に動いて示したりしながら説明する。

### 支持系の基本的な技の例

- 前回り下り 
- 転向前下り 
- 膝掛け振り上がり 
- 前方片膝掛け回転 
- 後方片膝掛け回転 
- 両膝掛け倒立下り 

20分

### ◎技に恐怖心があり意欲でない児童への配慮の例

- ➔ 落ちても痛くないようにマットを敷いたり, 回転しやすいように鉄棒に補助具を付けたりして, 場を工夫するなどの配慮をする。

- 安全を確かめている様子を取り上げて, 称賛する。

### ◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度

#### ⑤場や器械・器具の安全, 試技の開始前の安全を確かめている。

- ➔ 試技の開始前などに, 友達との間隔や場や器械・器具の安全を確かめている姿を評価する。(観察・学習カード)

### ◎安全を確かめることに意欲でない児童への配慮の例

- ➔ 試技の開始前には友達との間隔, マットの位置などを確かめるなどの声をかけたり, グループの友達と一緒に安全を確かめて, 安全であることを伝え合ったりするなどの配慮をする。

## 7 本時を振り返り, 次時への見直しをもつ

### 本時の振り返り

- ・支持系の基本的な技で, できた技を書きましょう。
- ・安全を確かめることについて, 気付いたことや考えたことを書きましょう。
- ・単元の学習で身に付けたいことやできるようになりたい技など, 自己の目標を書きましょう。

5分

- 振り返りを発表して, 友達に伝える。

- 振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに, 気付いや考えのよさを取り上げて, 称賛する。

## 8 整理運動, 場や器械・器具の片付けをする

- 整理運動の行い方について, 実際に動いて示しながら説明するとともに, けががないかなどを確認する。

## 9 集合, 健康観察, 挨拶をする

- 振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに, 気付いや考えのよさを取り上げて, 称賛する。

# 本時の目標と展開② (3/6時間)

## 本時の目標

- (1) 鉄棒運動の行い方を知ることができるようにする。
- (2) 自己の能力に適した課題を見つけ、その課題の解決のための活動を選ぶことができるようにする。
- (3) きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合うことができるようにする。

## 本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合、挨拶、健康観察をする 2 本時のねらいを知り、目標を立てる 基本的な技の行い方を知り、できる技や新しい技に挑戦しよう ○本時のねらいを知り、自己の目標を立てる。 3 場や器械・器具の準備をする ○グループで協力して、準備をする。 4 準備運動、主運動につながる運動をする ○学級全体やグループで準備運動、主運動につながる運動をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習カードを配り、立てた目標を記入するように伝える。</li> <li>●安全な準備の仕方を確認する。</li> <li>●けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。</li> </ul>
	5 鉄棒運動の自己のできる技に取り組む ○支持系の基本的な技の行い方を知る。 ○自己の能力に適した技を選んで行う。 ◎鉄棒運動の基本的な技が苦手な児童への配慮の例 ➔ 前回り下りが苦手な児童には、勢いのつけ方や体を丸めて鉄棒から離さない動きが身に付くようにするなどの配慮をする。 ➔ 転向前下りが苦手な児童には、バランスをとる動きが身に付くようにするなどの配慮をする。 ➔ 膝掛け振り上がりが苦手な児童には、振りの勢いを利用して起き上がる動きが身に付くようにするなどの配慮をする。 ➔ 両膝かけ掛け倒立下りが苦手な児童には、逆さまで体を動かしたり、鉄棒に足を掛けたりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。 ➔ 前方片膝掛け回転、後方片膝掛け回転が苦手な児童には、バランスをとって回転を開始する姿勢をつくらせ、体を揺らしてから振りの動きを利用して回転したりする動きが身に付くようにするなどの配慮をする。 ○課題の解決のために考えたことを伝える。 ●考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本的な技の行い方について、学習資料やICT機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。</li> </ul>

15分	6 鉄棒運動の新しい技に挑戦する ○かかえ込み前回り、かかえ込み後ろ回りの行い方を知る。 ◎支持系の基本的な技の例 ○かかえ込み前回り ○かかえ込み後ろ回り ◎鉄棒運動の基本的な技が苦手な児童への配慮の例 ➔ かかえ込み前回り、かかえ込み後ろ回りが苦手な児童には、勢いのつけ方や体を丸めて鉄棒から離さない動きが身に付くようにするなどの配慮をする。 ◎友達と励まし合うことに意欲的でない児童への配慮の例 ➔ かかえ込み方や顔の向きを確認したり、回数を数えたりする役割ができるようにするなどの配慮をする。 ○課題の解決のために考えたことを伝える。 ●考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●技の行い方について、学習資料やICT機器を活用したり、実際に動いて示したりしながら説明する。</li> </ul>
	7 本時を振り返り、次時への見通しをもつ 本時の振り返り ・新しく学習した技の行い方について、知ったことを書きましよう。 ・本時の学習で、できた技とそのできばえを書きましよう。 ・誰とでも励まし合うことについて、気付いたことや考えたことを書きましよう。 ○振り返りを発表して、友達に伝える。 ◎鉄棒運動の行い方を知ることが苦手な児童への配慮の例 ➔ 個別に関わり、鉄棒運動の基本的な技の行い方のポイントについて対話をしながら確認するなどの配慮をする。 ○振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに、気付きや考えのよさを取り上げて、称賛する。 ◎学習評価◆ 知識・技能 ①鉄棒運動の行い方について、言ったり書いたりしている。 ➔ 鉄棒運動の基本的な技の行い方について、発表したり学習カードに記入したりしていることを評価する。(観察・学習カード) ◎学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度 ②きまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ➔ グループの友達と互いの動きを見合ったり、必要に応じてできる補助をしたりするなど、友達と励まし合おうとしている姿を評価する。(観察・学習カード) ●考えたことを伝えていることを取り上げて、称賛する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●仲間よく励まし合おうとしている様子を取り上げて、称賛する。</li> </ul>
5分	8 整理運動、場や器械・器具の片付けをする 9 集合、健康観察、挨拶をする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●適切な整理運動を行うように伝えるとともに、けががないかなどを確認する。</li> </ul>

# 本時の目標と展開③ (4/6時間)

## 本時の目標

- (1) 自己の能力に適した支持系の基本的な技をすることができるようにする。
- (2) 自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を選ぶことができるようにする。
- (3) 友達の考えを認めることができるようにする。

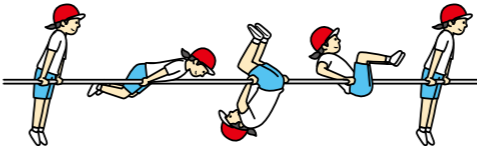
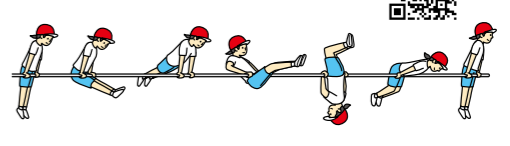
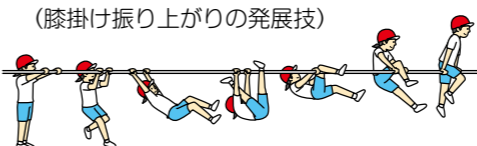
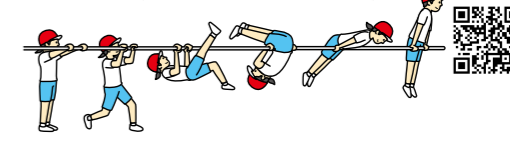
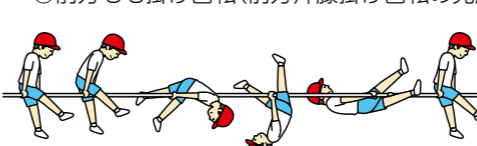
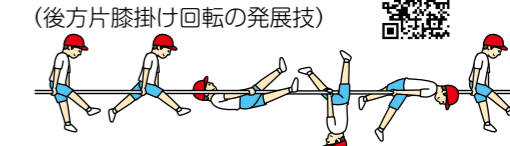


## 本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	1 集合, 挨拶, 健康観察をする 2 本時のねらいを知り, 目標を立てる 課題の解決のための活動を工夫して, 自己の能力に適した技に挑戦しよう	
	3 場や器械・器具の準備をする 4 準備運動, 主運動につながる運動をする	●学習カードを配り, 立てた目標を記入するように伝える。 ●安全な準備の仕方を確認する。 ●けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。
10分	5 鉄棒運動の自己のできる技を繰り返したり組み合わせたりする 鉄棒運動の技の繰り返し方や組み合わせ方の例	●鉄棒運動の技を繰り返したり組み合わせ方について, 学習資料やICT機器を活用したり, 実際に動いて示したりしながら説明する。
	●課題の解決のために考えたことを伝える。	●考えたことを伝えていいることを取り上げて, 称賛する。

- 6 鉄棒運動の自己の能力に適した技に挑戦をする
  - 自己の能力に適した課題を解決するための活動を選んで, もう少してできそうな技に挑戦する。
  - 基本的な技に十分に取り組んだ上で, それらの発展技にも取り組む。

●発展技の行い方について, 学習資料やICT機器を活用したり, 実際に動いて示したりしながら説明する。

### ◎支持系の発展技の例

○前方支持回転 (前回り下り, かかえ込み前回りの発展技) 	○後方支持回転 (かかえ込み後ろ回りの発展技) 
○膝掛け上がり (膝掛け振り上がりの発展技) 	○逆上がり (補助逆上がりの発展技) 
○前方もも掛け回転 (前方片膝掛け回転の発展技) 	○後方もも掛け回転 (後方片膝掛け回転の発展技) 
○片足踏み越し下り (転向前下りの発展技) 	○両膝掛け振動下り (両膝掛け倒立下りの発展技) 

◆学習評価◆ 思考・判断・表現  
 ① 自己の能力に適した課題を見付け, その課題の解決のための活動を選んでいる。

➡ 自己の課題を見付け, できるようになるための練習の場や方法を選んでいる姿を評価する。(観察・学習カード)

◎課題の解決のための活動を選ぶことが苦手な児童への配慮の例


➡ 個別に関わり, 見付けた課題を解決しやすい練習の場を選べるように, 対話をしながら助言するなどの配慮をする。

○課題の解決のために考えたことを伝える。 ●考えたことを伝えていいることを取り上げて, 称賛する。

- 7 本時を振り返り, 次時への見通しをもつ

**本時の振り返り**

- ・本時の学習でできた技の繰り返し, 組み合わせと, そのできばえを書きましょう。
- ・挑戦した技の課題と, その課題の解決のために選んだ活動を書きましょう。
- ・技のポイントや友達の技のできばえについて, 気付いたことや考えたことを書きましょう。



- 5分
  - 振り返りを発表して, 友達に伝える。
- 8 整理運動, 場や器械・器具の片付けをする
- 9 集合, 健康観察, 挨拶をする

●振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに, 気付いたことや考えのよさを取り上げて, 称賛する。  
 ●適切な整理運動を行うように伝えるとともに, けががないかなどを確認する。

# 本時の目標と展開④ (6/6時間)

## 本時の目標

- (1) 自己の能力に適した支持系の基本的な技をすることができるようにする。
- (2) 課題の解決のために考えたことを友達に伝えることができるようにする。
- (3) 鉄棒運動に進んで取り組むことができるようにする。

## 本時の展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点
10分	<ol style="list-style-type: none"> <li>集合, 挨拶, 健康観察をする</li> <li>本時のねらいを知り, 目標を立てる</li> </ol> <p style="text-align: center;"><b>鉄棒運動発表会でできるようになった技を見せ合って, 学習のまとめをしよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本時のねらいを知り, 自己の目標を立てる。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>場や器械・器具の準備をする</li> <li>準備運動, 主運動につながる運動をする</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループで協力して, 準備をする。</li> <li>○グループで準備運動, 主運動につながる運動をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習カードを配り, 立てた目標を記入するように伝える。</li> <li>●安全な準備の仕方を確認する。</li> <li>●けがの防止のために適切な準備運動を行うように伝える。</li> </ul>
10分	<ol style="list-style-type: none"> <li>鉄棒運動発表会をする</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>○鉄棒運動発表会の行い方を知る。</li> </ul> <p><b>鉄棒運動発表会の行い方やきまりの例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで一人ずつ順番に, できるようになった技を発表しましょう。</li> <li>・できるようになった技の繰り返しや組み合わせも発表しましょう。</li> <li>・技を終えて, 着地しておわりのポーズをしたら, 拍手をしましょう。</li> <li>・友達の技のできばえをよく見て, 発表会後に伝え合ひましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鉄棒運動に進んで取り組もうとしている様子を取り上げて, 称賛する。</li> </ul> <p><b>◆学習評価◆ 主体的に学習に取り組む態度</b></p> <p>①鉄棒運動に進んで取り組もうとしている。</p> <p>➔ 鉄棒運動の技の練習や発表, 課題を解決するための活動や技の繰り返しや組み合わせを工夫することなどに進んで取り組もうとしている姿を評価する。(観察・学習カード)</p>
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○発表する技, 技の繰り返しや組み合わせの練習をする。</li> <li>○できるようになった技, 技の繰り返しや組み合わせをグループ内で見せ合う。</li> <li>○課題の解決のために考えたことを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●考えたことを伝えていることを取り上げて, 称賛する。</li> </ul> <p><b>◆学習評価◆ 思考・判断・表現</b></p> <p>②課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。</p> <p>➔ 自己や友達の技のできばえについて見付けたり考えたりしたことを発表したり学習カードに書いたりしていることを評価する。(観察・学習カード)</p> <p><b>◎考えたことを伝えることが苦手な児童への配慮の例</b></p> <p>➔ 個別に関わり, 友達のよい動きを見付けたり考えたりしたことを聞き取って, 友達に伝えることを支援するなどの配慮をする。</p>
10分	<ol style="list-style-type: none"> <li>単元を振り返り, 次時への見直しをもつ</li> </ol> <p><b>単元の学習の振り返り</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○単元の学習の目標で, 達成したことを書きましょう。</li> <li>○学習したことで, 今後の学習や日常生活の中で取り組んでいきたいことを書きましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●振り返りを学習カードに記入するように伝えるとともに, 気付きや考えのよさを取り上げて, 称賛する。</li> <li>●適切な整理運動を行うように伝えるとともに, けががないかなどを確認する。</li> </ul>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>整理運動, 場や器械・器具の片付けをする</li> <li>集合, 健康観察, 挨拶をする</li> </ol>	

# 2学年間にわたって取り扱う場合

## 【第3学年における指導と評価の計画(例)】

時間	1	2	3	4	5	6
ねらい	学習の見直しをもつ	基本的な技の行い方を知り, できる技や新しい技に挑戦することを楽しむ		課題の解決のための活動を工夫して, 技に挑戦することを楽しむ		学習のまとめをする
学習活動	<p><b>オリエンテーション</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の見直しをもつ</li> <li>・学習の進め方</li> <li>・学習のきまり</li> <li>○鉄棒運動</li> <li>低学年で学習した運動遊びに取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己のできる技に取り組む</li> <li>・自己のできる基本的な技をする</li> <li>・基本的な技に十分に組み込んだ上で, それらの発展技に取り組む</li> </ul> <p><b>○基本的な技に挑戦する</b></p> <p>【支持系の基本的な技】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回り下り</li> <li>・かかえ込み前回り</li> <li>・転向前下り</li> <li>・膝掛け振り上がり</li> <li>・前方片膝掛け回転</li> <li>・補助逆上がり</li> <li>・かかえ込み後ろ回り</li> <li>・後方片膝掛け回転</li> <li>・両膝掛け倒立下り</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の能力に適した技に挑戦する</li> <li>もう少しでできそうな技と技ができるようになる場を選んで取り組む</li> </ul>		<p><b>学習のまとめ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自己のできる技に取り組む</li> <li>○学習のまとめをする</li> </ul>
評価の重点	知識・技能		①		②	
	思考・判断・表現			①		
	主体的に学習に取り組む態度	⑤	③			①

## 【低学年「鉄棒を使った運動遊び」との円滑な接続を図るための工夫(例)】

- 「支持しての揺れや上がり下り, ぶら下がりがりや易しい回転」から「支持系の基本的な技」にするために  
低学年では, 鉄棒を使って手や腹, 膝で支持したり, ぶら下がったり, 揺れたり, 跳び上がったり, 跳び下りたり, 易しい回転をしたりして遊びました。中学年では, 腹や足を鉄棒に掛けて前や後ろに回る支持系の基本的な技に取り組むことができるようにします。そのため中学年のはじめは, 基本的な技の行い方を知り, 低学年で取り組んだ運動遊びとの違いや技のポイントを押さえて, それぞれの技に取り組むようにしましょう。その一方で, 低学年で取り組んだ運動遊びについても, 基本的な技ができるようになるための基礎となる体の動かし方や感覚が身に付くよう, 取り組む時間を設定しましょう。

(例) 基本的な技に挑戦する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回り下りは, 支持の姿勢から始め, 回転した後, 両足を揃えて開始した側に着地するようにする。</li> <li>・かかえ込み前回りやかかえ込み後ろ回りは, 支持の姿勢から手で足をかかえ込んで回転する。</li> <li>・前方片膝掛け回転や後方片膝掛け回転は, 前後開脚の支持の姿勢から始め, 回転した後, 前後開脚の支持の姿勢に戻るようにする。</li> <li>・両膝掛け倒立下りは, 鉄棒に両膝を掛けた姿勢から始め, 両膝を鉄棒から外す際はつま先から下りるようにする。</li> </ul>
(例) 低学年で学習した運動遊びに取り組む	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ツバメで支持の姿勢, ふとん干して腹を掛けて揺れる姿勢, こうもりで鉄棒に膝を掛ける姿勢, 足抜き回りで回転する感覚を身に付けるようにするなどの運動遊びに取り組む。</li> </ul>

## 【第3学年において重点を置いて指導する内容(例)】

- 知識及び技能  
支持系の基本的な技の行い方を知るとともに, いろいろな技に挑戦することができるようにしましょう。その際, できるようになった技は何度も繰り返し楽しむとともに, もう少しでできそうな技は補助や補助具を利用するなどして取り組み, 技に挑戦することを楽しみましょう。
- 思考力, 判断力, 表現力等  
いろいろな技に挑戦する際, 技ができるようになるために, 自己に適した易しい場を選べるようにしましょう。また, 技が上手にできた際に分かったことや友達の技のできばえなどを, 友達に伝えることができるようにしましょう。
- 学びに向かう力, 人間性等  
中学年では, 技ができるようになるためにグループで学習をするので, 誰とでも仲よく励まし合おうとすることができるようにしましょう。また, 場の危険物を取り除いたり鉄棒や周りの安全を確かめたりすることができるようにしましょう。